

日時 令和7年10月9日(木) 10:00～

場所 八幡小学校 会議室、体育館

1. 開会あいさつ

【会長より】

- ・テレビのニュースの話題は、高市新総裁のことが多いが、政治を行うには、信頼がベースになっていることが必須条件。八幡小の職員、保護者、地域の関係は、お互いに顔が見える良好な関係であり、気心知れた仲間である。今後も大切にしていきたい。

2. 学校より

- ・運営協議会開始前に各学年の人権参観を見ていただいた。学年の発達段階に応じた「人権」についての取組を参観していただいたことについて意見交換を行いたい。また、参観後、人権講演会を予定している。講演テーマは、「自分をあきらめたくない人」に贈るメッセージと題した講演(脳性まひのお子さんとのこれまでの生活とこれからについて)の紹介をした。

3. 授業参観の感想

【老人クラブ会長より】

- ・学校で、人権の授業しているが、いじめがなくなる現実がある。それでも、学び続けることが必要であると感じる。
- ・4年生の授業で取り上げられていた、「同調圧力」について、現実社会ではごく普通にあること。正しいことを教えながら、実践していくことが重要。

【連合町内会長より】

- ・各学年の工夫が見られた。例えば、なのひま学級では、「やさしさ」を教えることの大切さを痛感した。自分たちの時代と比べると、ずいぶん人権学習が進んでいると感じる。

【学校支援ボランティア代表より】

- ・2年生の授業で取り上げられていた、「インターネットトラブルの防止、個人情報の保護」について、いけない理由がはっきりとわからなくても、漠然と(子どもたちなりの理由で)だめなことがわかっているので安心した

【民生委員代表より】

- ・学習を進めていく中で、1人だとどっちかと迷うことも、みんなの意見を聞いて、その迷いが解決できることが多く、皆で学ぶ意味がある。
- ・今の子は、怒られ慣れていないと感じる。教師が大きな声を出して指示することを、

怒られたと感じる子ども（上司からちょっと強めに言われたことを怒られたと捉えがちな若手社員）がいるので、この先が心配。そういう現状を踏まえて、今の子どもたちと関わる必要がある（今風の指導方法に、指導者が変えていくべき）。

【PTA会長より】

- ・6年生の授業で取り上げられていた、「子どもの権利条約」について、知ることは大切だが、何かにつけて権利主張をする若者が増えていることも危惧している。難しい内容を学んでいるなど感じた。どの学年も、それぞれの発達段階に応じた学習内容（テーマ）であり、大変参考になった。

【地域コーディネーターより】

- ・平日にも関わらず、多数の参観者があり、保護者の熱心を感じた。また、子どもたちが、前回と比べてさらに一生懸命な姿が見られたことが、すばらしい。
- ・担任と子どもの関係が良好で、「どう思いますか？」との問いかけに、どの子も一生懸命に考えて、答えようとしている姿がよかった。

※その後、最近の身近な話題についての話し合い

- ・管理職（役職に就く）になることを避けたがる若者が多いことが気になる。また、家庭での「しつけ」の部分も学校が担っていることに違和感を感じる。
- ・子育てについていろいろと考えさせられる。今は共働きが主流なので、今と専業主婦だった昔を直接比べられないが、今は、社会に出ていることにより、育児ストレスを感じにくくなっているのかもしれない（自分は、我が子との時間を多くもっていたので）。
- ・昔は、地域全体で子ども（の成長）を見ていたが、最近では関わりにくい環境になっている。また、あいさつなどの声掛けもできにくい風潮に対して、大変さみしく思う。
- ・ミシンボランティアの活動は、とても楽しくでき、子どもに教えるというよりも、自分自身の学びになった（元気をもらえた）。改めて、「学校は勉強するところやなあ」と、学校の存在価値を実感した。
- ・ボランティアの要請について、遠慮なく、学校から地域へこれまで以上にもっと協力を求めてほしい。
- ・地域にミシンの上手な方がいて、学校に指導補助に来てほしいと依頼しているが、なかなかいい返事がもらえていない。
- ・11/2（日）は、「やはたワイワイまつり」に、名称変更されている。各町内から、作品づくり、作品展示なども行われる予定で、今後のまつりの展開に期待したい。
- ・町内のより多くの方々にもスクリレの登録をしていただけたらと思う。「やはたっ子ぶろぐ」を見れば、「学校の今」をキャッチできる。町内のみなさんに周知したい。

4 その他（連絡等）

次の開催日は、令和8年2/20（金）の予定。学校評価について、ご意見をいただく予定。